

2026 年 1 月 26 日(月)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

オリザ油化の新化粧品素材「乳酸菌発酵水」を上市！ 一化粧品の魅力を発酵の力で底上げする美容水一

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市、代表取締役:村井弘道、以下「オリザ油化」)は、この度、化粧品用途の「**乳酸菌発酵水**」を 1 月 26 日に上市しました。**高機能な美容水として、化粧品の情緒的価値と機能的価値を底上げする新素材をご提案します。**

■ 開発背景「成分表示のトップにこだわりを」

化粧品の大部分は水で構成されており、成分表示の最初に「水」と記載されることが一般的です。オリザ油化は、「化粧品はほぼ水」という印象を払拭し、成分表示の最初に**情緒的価値と機能的価値**を持つ原料を配置したいという化粧品メーカー様の声に応えるべく、開発をスタートしました。匂いや色、機能性へのこだわりから、重ねた試作は 50 回以上。そうして誕生したのが、化粧品のベースを“発酵の力”でアップデートする「**乳酸菌発酵水**」です。

ローション、シャンプー、コンディショナーなど幅広い剤型にご使用いただけます。スキンケアでは、花粉による肌荒れ、秋冬の乾燥、真夏のほてりを潤す商品に、ヘアケアでは、髪内部の水分バランスが崩れることで起こる髪の広がりやパサつきを抑える、「うるおい設計」の選択肢としてご提案いただけます。

■ **乳酸菌発酵水**の特長

① 桜の花びら由来乳酸菌で発酵した「**情緒的価値**」

乳酸菌発酵水は、日本の“しだれ桜”の花びらから採取された乳酸菌「**さくら乳酸菌®/SAKULORA®**」で発酵しました。この乳酸菌は、オリザが日本各地のさまざまな桜から採取した 100 種類以上の乳酸菌を厳密にスクリーニングし、その中から選ばれたオリザのオリジナル株です。

「日本の美」や「春」「儚さの美(移ろいゆくものを美しいと感じる心)」といった情緒的イメージを化粧品に付与します。



2 ページ目へ続く

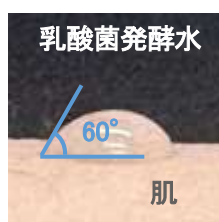


さくら乳酸菌®/SAKULORA®は、2023 年に食品原料として上市され、腸内環境を整える作用、フェムケア作用[エクオール産生(in vivo、臨床試験)、EMT 抑制作用(in vitro)]が確認されており、「腸に良いものは、肌にも良いはず」という考えのもと、2025 年に化粧品向けに上市した原料です。塗布により以下の美容効果が確認されています。

- ・保湿効果(in vivo)
- ・コラーゲン産生促進、ヒアルロン酸産生促進(in vitro)

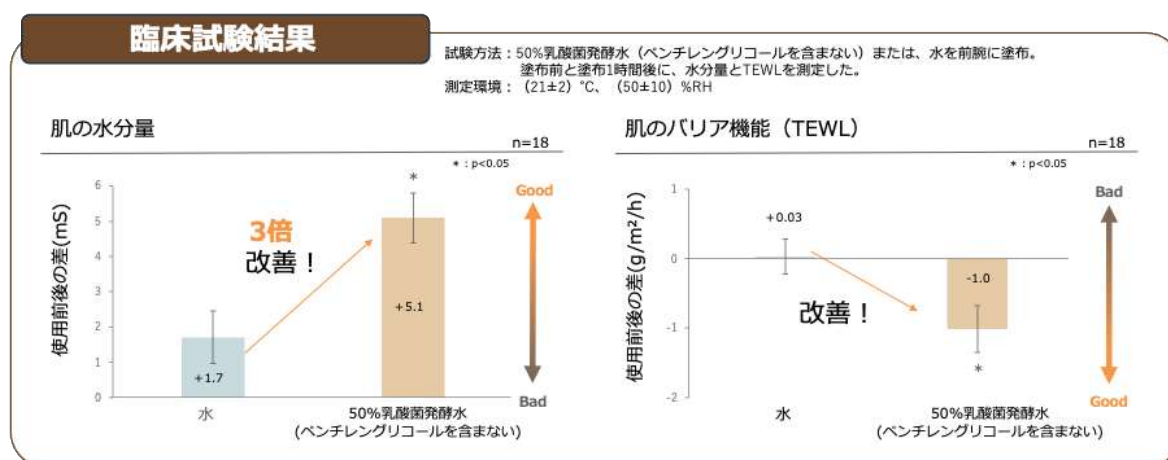
② 水を超える「機能的価値」

乳酸菌発酵水は、固形分が 1.5%以上含まれているため表面張力が水より低く、肌上で素早く広がり、なじみやすさが向上しています。(右図)



さらに、ヒト臨床試験(n=18)において、50%**乳酸菌発酵水**(ペンチレングリコール抜き)を使用した結果、水と比較して以下の効果が確認されました。

それぞれ 10 μ L を肌に滴下した様子



- ・肌の水分量が約**3倍改善**(使用前後の差: 水 +1.7、**乳酸菌発酵水** +5.1、p<0.05)
- ・肌のバリア機能(TEWL)が**改善**(使用前後の差: 水 +0.03、**乳酸菌発酵水** -1.0、p<0.05)

乳酸菌発酵水は、肌の潤いを高めるとともにバリア機能を強化します。

3 ページ目へ続く

③ ミニмум処方最適

乳酸菌発酵水は、伝統的な発酵技術が生んだ特別な美容水で、**情緒的価値**と**機能的価値**も兼ね備えています。機能的価値として、保湿やバリア機能を有することから、同機能をもつ原料を減らすことが可能となります。また、情緒的価値としては、発酵や桜、日本をイメージとするコンセプト成分も減らすことができ、水の代替とすることで、ミニмумでシンプルな処方設計が可能という付加価値も提供いたします。ミニмум処方は、肌への刺激やリスクの低減（成分の数が少ないほど、肌に合わない成分が含まれているリスクが低くなる。）、化粧品の透明性の向上（何が入っているのかわかり、自分の肌に合う成分が判断しやすくなる。）といったメリットがあるため、敏感肌やアレルギー肌の方々に好まれています。

そのほか、下記のような特徴があります。



ミニмум処方のイメージ例

■ 製品情報

製品名	乳酸菌発酵水
性状	淡黄色の透明な液体
におい	わずかに特異なにおい
推奨配合量	50%以上
化粧品表示名称	乳酸桿菌発酵液、ペンチレングリコール
INCI	Lactobacillus Ferment, Pentylene Glycol
中文 INCI(IECIC 2021)	乳酸杆菌发酵产物、1,2-戊二醇
安全性	皮膚一次刺激性(EpiSkin): 陰性 眼刺激性(EpiOcular): 陰性 変異原性(Ames, 5 菌株): 陰性